

学童保育における 命を守る「防災かるた」普及活動

看護学部1年生 上野 奈々 加那原 里奈 2年生 増田 華

担当教員 柚山 香世子

山武市「防災かるた」作成委員長 太田 泰彦氏

山武市社会福祉協議会との共同企画

<活動の目的>

山武市の地域住民の声を集めて作成された「防災かるた」。
現在、学童保育の子どもたちに「防災かるた」の内容を身近なものに感じてもらえるよう工夫をしながら交流を重ねている。子どもたち一人ひとりが防災の主役となり、子どもたちからご家族へと防災意識を高めていくことを目指している。

<活動状況と内容>

対象：学童保育の子どもたち 小学校1～6年生

場所：山武市 まつお、なるとう地域

期間：2022年7月5日～活動継続中

時間・頻度：平日の15時～16時、隔週もしくは毎週の火・木
長期休みの10時30分～11時30分など

【防災かるた】



【子どもの様子 と学生の気づき】

- ・かるたの言葉を
すらすらと話す
様子があった。
- ・毎回、取ったかるたを
読んでもらい、皆に質問を
していると、内容を理解してくれる。
(例：避難場所を覚えられた)
- ・帰宅して、かるたの内容(3日分の備え、コンセント
のほこりなど)を家族に話したことを教えてくれる。
- ・子どもは素直で、すぐに実行に移す好奇心と行動力
がある。子どもから防災意識を！
- ・今後も繰り返しの取り組みが大切だと思った。

【防災絵・文字合わせ】



【防災すごろく】



2マス
戻る♡